

## 看護師、薬剤師「つながる会」活動について

2016. 9月

## 地域包括ケアにつながる(その2)

事業部 山田 愛子

「認知症患者の看護」「暮らしをつなげる看護職員のための研修」において、認知症患者の状態に応じた適時・適切な医療・看護の提供や退院後は自宅に帰り、在宅での生活を支援するという視点の大切さを伝えてきました。受講生の皆様が地域において実践されていると期待しています。

平成28年7月4日に「磐田市・森町の病院・訪問看護ステーションの看護代表者がつながる会」(以下「つながる会」と略す)を望月会長と視察しました。ここでは病棟内や他部門との連携を広めることを実践している様子を視察することができました。顔の見える関係がすでに構築され、関係の深さを肌で感じることができました。



施設見学風景

「つながる会」では望月会長が参加者へエールを送り、森町病院・家庭医療クリニックの視察を行いました。天竜浜名湖鉄道の車窓からの緑豊かな田園風景に癒されながら、帰路につきました。

地域包括ケアにおける多職種連携は、顔がみえる関係づくりから始まります。今後、静岡県看護協会ではモデル地区を選定し、医療機関・施設に働く看護職が看看連携の基盤を充実させ、行政を巻き込み、地域において地域包括ケアが機能していくことを目指しています。

地域包括ケアに関して悩みをお持ちの皆様、ご意見ご要望をお寄せください。